

令和3年度まち・ひと・しごと創生寄附活用事業の評価について

1. 制度概要（詳細：別紙1参照）

少子・高齢化に的確に対応し、人口減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への一極集中を是正し、活力ある社会を維持していくため、「まち・ひと・しごと創生法」が制定されたことを受けて、本市では、国の長期ビジョン及び総合戦略を勘案し、本市人口の現状と将来の展望を提示する「まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」及び地域の実情に応じた5か年の施策の方向を提示し、「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環の確立と、その好循環を支える「まち」の活性化を図る「まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下、「総合戦略」）を策定しています。

この総合戦略に基づき、地方公共団体が行う地方創生の取組に対する企業の寄附について法人関係税を税額控除できる制度が『地方創生応援税制（以下、「企業版ふるさと納税」）』であり、この制度を活用して取り組む事業が「まち・ひと・しごと創生寄附活用事業」となります。

2. 本市における令和3年度の運用について

令和2年度税制改正により、令和3年度より制度が変更となりました。

これにより、下記のような運用が可能となりました。

変更前	変更後
各要素事業実施後（事業費確定後）にし か寄附金を受領することができない	各要素事業実施前（事業費確定前）でも、 寄附金を受領することが可能
企業版ふるさと納税を充当する各要素事 業について事前に国の認定を受けること が必要	地方版総合戦略の推進に資する事業で あれば、各要素事業実施後の国への報告 で可（年度終了毎）

これを受けて、本市ではまち・ひと・しごと創生寄附活用事業について、下記の2通りの方法で要素事業を実施することとしました。

A：市として戦略的に寄附を募集し、活用を図る事業

B：事業者の意向を最大限尊重しながら充当事業を検討し、寄附金の活用を図る事業

3. 令和3年度 まち・ひと・しごと創生寄附活用事業について

（要素事業1）サッカーチームと連携したまちの魅力向上事業（上記Aに該当）

（要素事業2）林道整備事業（上記Bに該当）

4. 評価の概要

今回の行財政評価委員会では、令和3年度に実施したまち・ひと・しごと創生寄附

活用事業について、市で実施した内部評価に対し、外部の視点で評価していただきます。

評価対象事業	評価資料
要素事業	
まち・ひと・しごと創生寄附活用事業	○ 総合シート
(要素事業1) サッカーチームと連携したまちの魅力向上事業	○ 評価シート
(要素事業2) 林道整備事業	○ 評価シート ○ 林道整備事業 説明資料

5. 評価の方法

「総合シート」・「評価シート」及び添付資料により、事業内容を確認いただき、「総合シート」に記載の事業の目標及び数値目標（KPI）を達成するために、評価年度に実施した要素事業が効果的であったかとの観点から、「評価シート」の下記部分について評価をお願いします。

■留意事項

※要素事業1について

令和5年度までは、寄附金の事業費への充当（サッカースタジアム建設）は行われないことから、令和3年度の行財政評価委員会においてはサッカースタジアム建設についてではなく、「企業版ふるさと納税の活用」についての効果について、評価をお願い致します。

※要素事業2について

林道整備事業は、林業基盤整備として恒常的に実施するインフラ整備事業であり、施工自体の評価等については技術的部分が占める割合が高く専門領域となり本委員会での評価にそぐわないことから、「企業版ふるさと納税の活用」についての効果を記載しています。

【委員会評価】①～③を選択してください。

【評価等に対する意見】 事業に関するご意見等を記入してください。

【「評価シート」・委員会評価欄】

委員会評価	【委員会評価】 下記から選択して下さい。	【評価等に対する意見】
	取組事業が評価交付金事業の 目標・KPI達成するために ①妥当である ②概ね妥当である ③検討を要する	

<参考：評価シートについて>

■総合シート

事業全体の目標や数値目標（KPI）等について記載しています。

事業名称等	事業の名称、目標及び概要を記載しています。
数値目標及び 実績	事業全体の数値目標（KPI）と、その実績を記載しています。 また、指標の状況及び今後の事業全体の考え方について記載しています。

■評価シート

事業を構成する要素事業ごとに、具体的な事業の内容や行政の内部評価、今後の課題等について記載しています。

実施事業	評価年度に実施した具体的な取り組みの内容について記載しています。また、その成果について、できる限り具体的な数値で表せるよう、参考指標を示しています。
担当者評価	評価年度に実施した取り組みが、事業の目標及びKPIを達成するために効果があったかとの視点より事業担当部署が評価を行い、その評価内容についてコメントを記載しています。
改善	今後の課題や取り組みの方向性について記載しています。
委員会評価	本委員会にて評価いただきたい箇所です。 取組事業が事業の目標・KPI達成するために「①妥当である」、「②概ね妥当である」、「③検討を要する」より選択してください。